



志賀重昂「森町之賦」漢詩碑(森川橋右岸上流側)

**遠州の小京都・森町**

遠州森町は、信州・長野県へ通じる街道の森口として、また火伏せの神・秋葉山へ詣でる人々の宿場町として、さらにお茶や古着などの商家が並ぶ町としても栄えてきました。このような繁栄を物語るものとして、町家の裏路地には当地で焼いた鬼瓦に白壁やなまこ壁の土蔵が続いていました。

大正十一年に森町を訪れた地理学者の志賀重昂は、清らかな太田川のせせらぎや、三方を小高い山々に囲まれた風景、川向こうや町裏から聞こえる三味線や太鼓の音などの情景が京都の祇園に似ているとしてこの町を「小京都」と称讃しました。情景だけでなく、神社仏閣が京都の寺社配置のように祀られていることや、都さながらの伝統行事が継承されていることなども森町を「小京都」の名にふさわしいものとしています。

## 森町中心部のごあんない



格子戸の家

**森の町の歴史**

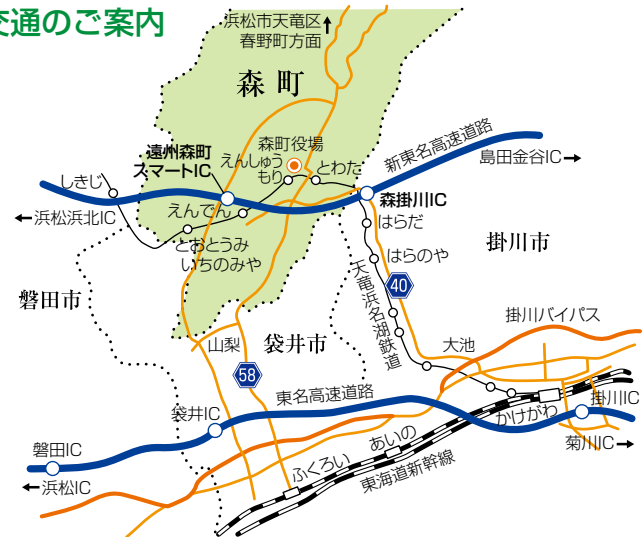
森町は遠江国の国府(今の磐田市)の北東に位置し、遠江国一宮小國神社・天宮神社・蓮華寺、そして曹洞宗の古刹大洞院など由緒ある神社仏閣が点在します。

鎌倉期に、太田川沿いに蓮華寺の森市場として、室町から近世にかけて今の町並みが成り立ち、形成されていきました。延宝七年(一六七九)、旗本土屋主税(忠臣蔵の吉良邸隣家)三千石の知行地となり、明治を迎えるまで森町村ほか七か村が支配下に置かれました。

江戸後期には火伏せの神・秋葉山への宿場町として、また古着商いの町として、その名が全国に知られるようになります。江戸末期には二宮尊徳の報徳の教えが伝えられ、森町の商人たちは報徳精神に基づいた商いを実践して更に繁盛しました。

数百棟もあった土蔵は当時の繁栄を今に伝え、細長い敷地に作られた町家造りの特有な店棚や、格子、葺戸、坪庭などに京都に似た風情が感じられます。

## 交通のご案内



- お車をご利用の場合/①新東名高速道路森掛川ICから森町役場まで約8分。②新東名高速道路遠州森町スマートICから森町役場まで約10分。③東名高速道路袋井ICから森町役場まで約25分。④東名高速道路掛川ICから森町役場まで約30分。
- 鉄道をご利用の場合/JR掛川駅から天竜浜名湖鉄道で約25分、遠州森(えんしゅうもり)駅・戸締(とわた)駅下車。
- バス(秋葉バスサービス)をご利用の場合/①JR袋井駅から遠州森町行・気多行で約35分、遠州森町下車。②JR磐田駅から遠州森町行で約55分、終点遠州森町下車(土・日・祝日運行なし)。

## お問い合わせ先

**森地区まちづくりの会** 事務局/森町役場建設課内  
 〒437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1  
 TEL.0538-85-6321 FAX.0538-85-4419  
 URL <http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/>

歴史的な町並みを歩こう。

# 遠州の小京都の森町散策マップ

●城下の町並み

●森・天宮の町並み



**天宮神社**  
 太田川の水を司る古社で、九州の築紫国宗像神社を遷し祀ったのが始まりと伝えられています。本殿、拝殿は県の文化財、御神木の榊の樹は天然記念物に指定されています。



**三島神社**  
 森町の語源「森山」に祀られています。11月上旬には勇壮な森の祭りが開催され、最終日は伝統の「舞見返し」が行われます。



**蓮華寺(萩の寺)**  
 遠州一宮の神宮寺として創建された、遠州第一の天台宗寺院。鎌倉期の作で県指定文化財「天台大師画像」をはじめ貴重な文化財が数多く展示されています。



**歴史民俗資料館**  
 周智郡役所として使われていた建物を移築復元。鈴木藤三郎や森町の歴史・文化に関する資料が展示されています。



**治郎柿の原木**  
 日本の甘柿の王様「治郎柿」の原木で、世界に1本しかない木。江戸天保末期、松本治郎が太田川近くの田から苗木を持ち帰り、自宅の裏庭に植えたのが始まりです。



森地区まちづくりの会